



小 松 川



令和5年 11月1日
江戸川区立小松川小学校
学校だより 11月号

きらりと光る、小松川小学校のよいところ

副校長 鈴木 衣里

10月21日学校公開にて、保護者の皆様にとくさんのご参観をいただき、ありがとうございました。音楽劇「あいさつは魔法の力」も子供たちと共にご参観くださり、よい学びの機会になりました。

5月のある日、地域の方から学校に嬉しいお電話をいただきました。

地域の方が近隣公園のベンチに腰掛けようとしたところ、ベンチの上にはビールの空き缶やたばこの吸い殻などが放置されていて座ることができず、途方に暮れてしまったそうです。その様子を見た本校の5年生が「お困りでしょう。今、片付けますね。」と、率先して片付けてくれたそうです。自分たちが出したゴミではないのに、地域の方が困っている様子を見て、自主的に素早く片付け、「どうぞ。」と座るように勧めてくれた姿に、涙が出そうなくらい感動されたそうです。学校名と名前を聞いたとのことで、ご報告と感謝の言葉をいただきました。

小松川小学校全体が褒められたような、とても嬉しい気持ちになり、さっそく、本人たちに感謝の言葉を伝え、全校朝会でも紹介したところ、児童から拍手が沸き起こりました。

9月のある日、1～3年生の下校時刻に急な大雨が降りました。傘を持ち合わせていない児童も多く、保護者の方が傘を持って来てくださったり、降り方が弱まるまで待機したりと対応に追われていた時です。すすくすくスクールの上級生2～3人がさっと中央玄関に来て、困っている1年生に、すすくすくに行くか、下校をするのか行き先を尋ね、傘を持っていない子には「この傘に一緒に入って行って。」と、迅速に誘導の声掛けをしていました。お迎えに来ていた保護者の方も感心するくらい、優しく思いやりのある行動でした。

日頃から、掃除の時間に自分たちの役割を果たし、すみずみまできれいにしようとし生懸命に取り組む姿が見かけられます。お陰で、江戸川区内で一番古い校舎とは思えないくらい校内がきれいです。特に、いつも感心するのは、中央玄関の靴箱掃除です。6年生が1年生に優しく教えながら、靴箱の靴を出し、一つずつ丁寧に細かい砂粒をとっています。6年生に褒められた1年生が、ますますはりきっています。良い伝統が、これからも続くことを願います。

まだまだ、本校のよいところがたくさんあります。きらりと光る良いところを、アンテナを高くして見付け褒めていくことで、「この学校でよかった、明日も楽しみだ。」と思えるような学校づくりに努めてまいります。

【お知らせ】

10月20日より、音楽専科の櫻木瞳見教諭と、栄養士の弭間奈々が産休に入りました。代替として、音楽専科は川島 薫教諭（2学期から産育休代替として任用）、栄養士は中村早智子（なかむら さちこ）を任用いたします。よろしく願いいたします。